



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年8月31日

消費税インボイス制度に備え 対策セミナー開催



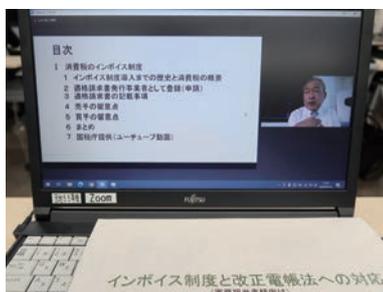
消費税インボイス制度対策セミナー

組合では2023年10月より開始する消費税の適格請求書(インボイス)制度について、全国卸商業団地協同組合連合会との共催で対策セミナーを開催した。講師は組合の顧問税理士である相坂税理士が務めた。

同セミナーは問屋町会館1階会議室で開催され、より多くの組合員に受講してもらえようZoomによるオンライン配信も実施した。7月7

日(木)に開催した会社代表者向けのセミナーは会場6名、オンライン6名の計12名、7月14日(木)の実務担当者向けは会場10名、オンライン23名の計33名が聴講した。

インボイス制度とは、所定の記載要件を満たした適格請求書(インボイス)の発行または保存により、消費税の仕入額控除を受けられる制度。インボイス制度は売り手側、買い手側双方に適用され、売



Zoomによるオンライン配信も実施

り手側は買い手側から求められたときにインボイスを発行し、買い手側は売り手側から発行されたインボイスの保存が必要となる。制度導入後は、インボイスを発行できない者からの仕入れについては原則、仕入税額控除ができなくなる。

相坂税理士は「大企業ではインボイス発行事業者になるための登録申請や取引先への照会など、インボイス制度への準備が着々と進められている。一方、青森の中小企業では制度への理解が進まず対応が遅れている。まずは自社の方針を決定し、早めにインボイス発行事業者の登録をしてほしい」と話した。

またセミナーでは、2022年1月から施行された2年間の経過措置がとられている改正電子帳簿保存法についても詳しく説明した。

小学1年生に 交通安全グッズ寄贈

青森交通安全協会問屋町支部では、2022年6月18日に達成した問屋町内交通事故死亡事故ゼロ9千日を記念し、問屋町が学区に含まれる荒川小学校、横内小学校の1年生に交通安全グッズを寄贈した。

7月6日(水)には荒川小学校、7月20日(水)には横



交通安全グッズ寄贈(荒川小)

内小学校を訪れ、同支部の工藤支部長が代表児童に反射材ミニバンドを手渡した。

同事業は2016年の死亡事故ゼロ7千日達成を記念して開始し、2019年の8千日達成からは毎年行っており、今回で5回目となる。子供たちの交通事故を防ぎ、問屋町の交通安全への取り組みを広くPRするため、次年度以降も継続していく。



交通安全グッズ寄贈(横内小)

東和電材が新規加入

当組合に新規加入した東和電材(株)が第二問屋町内で進めていた本社移転新築工事がこのほど完了し、団地内での営業をスタートさせた。

同社は電設資材を販売する総合商社。また、同社を中核とする5つのグループ会社で、電気設備に関する製造・販売・工事の全てを担い、あらゆるニーズに応える体制を整備している。

地域貢献活動にも積極的に取り組む同社では、現在JFLに所属するサッカークラブ

「ラインメール青森FC」の冠スポンサーを務め、移転した新社屋内にクラブ事務所も構えている。



完成した東和電材新社屋

国内経済視察会の実施 など承認

第4回理事会

7月25日(月)に問屋町会館において第4回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局から組合創立55周年記念事業や問屋町内交通死亡事故ゼロ9千日達成記念事業、組合員跡地再整備計画などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、企画情報委員会からの意見について

青森県の物価高騰対策について学ぶ

青森県流通団地連絡協議会

青森県内の5つの卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会では、7月11日(月)にホテル青森で第1回団地組合職員研修会を開催した。

同研修会は県内各地の卸団地事務局職員に加え、組合指導機関である青森県商工労働部、青森県中小企業団体中央会から計23名が出席した。

研修会の講師は県商工政策課の小泉商工金融グループマネージャーが務め、青森県の物価高騰対策について説明。原油・原材料価格高騰の中、



団地組合職員研修会

継続的な光熱費の削減等に取り組み中小企業や協同組合が活用できる補助金に加え、県内飲食店を盛り上げるためのキャンペーンを紹介した。

青森公立大学で講義実施

研修会後には懇親会が開かれて親睦を深めるとともに、各卸団地の近況報告など活発な情報交換が行われた。

当組合では昨年に引き続き、青森公立大学の事業論(流通業)の講師を担当した。

講義は6月から7月にかけて全7回行われ、事務局の小田切業務部長が問屋町や流通業の概要について紹介したほか、組合員5社がそれぞれ、自社の業務内容や業界の特色などについて解説した。今回も企業と学生の貴重な接点の場となった。



組合員が青森公立大学で講義

第1回税務研修会

6月21日(火)に問屋町会館1階会議室において今年度1回目となる税務研修会が開催された。青森法人会と共催で開催された研修会では青森

税務署の奥山審理専門官が講師を務め、組合員従業員ら13名が参加。寄付金の損金算入について学んだ。奥山専門官は「税金対策のために無制限に寄付が行われ、寄付金の全てが経費にならないように法人税では一定の制限を設けている。ただし、全ての寄付を同じように制限するのではなく、寄付先や寄付の内容によって4つに分けて制限する内容を変えている」と説明。寄付金の会計処理と税務処理の相違、損金算入限度額の計算法などについて詳しく解説。そのほか、決算賞与支給時の留意点についても説明した。

国内経済視察会や公共施設等視察会、知財活用講座の実施などについて承認された。案件二、つなぎ資金の借換について

第15回定時総会

支店長・所長連絡会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第15回定時総会が、7月13日(水)にホテル青森で開催された。

本人出席21名、書面出席28名で開かれた同総会では、提出議案が全て原案どおり承認された。任期満了に伴う役員改選では、佐々木会長(コセキ(株)所長)を再任。新たに太陽産業(株)の戸畑所長が幹事に選ばれ、その他の役員は留任となった。



青友会 総会



講話する三上執行役員

間の親睦交流を一層深めていくこととした。また総会に先立ち、組合員(株)青森共同計算センターの三上執行役員を講師に招き「今さら聞けないIT用語」と題した特別講演会が行われた。

「コピペ」や「スクショ」など普段の会話で耳にする用語に加え、「DX」や「IoT」、「RPA」などニュースなどでよく聞くようになったビジネスに関わるIT用語についてもわかりやすく解説した。

株式会社 大平教材社

〒030-0113 青森市第二回廊町三丁目5番33号
TEL 017-7621311・FAX 017-7621310
E-mail: oodaira@infoasomori.ne.jp

妥協なき快適の追求

妥協の先に優れた物はなく
不快な環境に幸福はない
優れた物の裏には努力があり快適な環境には笑顔がある
妥協を無くし全てのお客様に快適な環境を追求し続ける事
それが私達の使命です

和田ゴム販売株式会社

とんやまち フラワースナップ

今月紹介するのはエイ・スイーサーズ(株)。
同社では、昨年から本格的



エイ・スイーサーズの花壇

に花壇の管理に取り組み始め、今年で2年目。時期によって花を植え替え、春はツツジやパンジー、夏はラベンダーやジニアなど、色々な表情を見せる。

花のお世話を担当する藤田常務は、休日にも会社に出向いて水やりや花摘みをするなど管理を徹底。「会社の外観が明るくなり、私自身も花の相手をすることで心のうるおいや心理的なゆとりが生まれて良かった」と話す。

業務報告

主要事項

7月
4日▽第1回問屋町地区健康診断

- 5日▽第1回問屋町従業員モーター会議
- 6日▽安協交通安全グッズ寄贈式(荒川小学校)
- 7日▽インボイスセミナー
- 11日▽県流通団地連絡協議会第1回団地組合職員研修会
- 13日▽問屋町支店長・所長連絡会第15回定時総会
- 14日▽第4回問屋町合同清掃
- 15日▽インボイスセミナー
- 15日▽金融審査会
- 20日▽安協交通安全グッズ寄贈式(横内小学校)
- 21日▽第1回企画情報委員会
- 24日▽問屋町100日ウォーキング(10月31日)
- 25日▽第4回理事会
- 26日▽安協問屋町支部第1回街頭指導
- 28日▽総務担当者が知っておくべき行政への届出手続き
- 29日▽問屋町政経クラブ幹事会・第36回総会
- 30日▽安協問屋町支部第1回街頭指導

問屋町 ビジネススクール

- 14日▽会計・経理の基礎講座(導入編)①
- 19日▽会計・経理の基礎講座(導入編)②
- 20日▽営業初心者戦力化セミナー(本音を引き出す方編)
- 21日▽経営相談会(第9期)
- 21日▽会計・経理の基礎講座(導入編)③

経済雑感

第二九回

㈱商工組合中央金庫 青森支店
支店長 長谷川 正治

前号に引き続き、商工中金青森支店の長谷川支店長による経済雑感をお送りする。

商工中金は今年度、新たな企業理念(「パーパス・ミッション」)を制定いたしました。2008年以来的の改定です。パーパスとは商工中金が社会に存在する意義・目的であり、ミッションとはパーパス実現のために商工中金が果たすべき使命のことを言います。新企業理念において「パーパスは「企業の未来を支えていく。日本を変化に強くする。」、ミッションは「安心と豊かさを



㈱商工組合中央金庫 青森支店 支店長 長谷川 正治

生み出すパートナーとして、ともに考え、ともに創り、ともに変わりつづける。」です。そして、この企業理念を根幹に、今年度から始まる3カ年中期経営計画を策定いたしました。なお、この中期計画は、前回お伝えした2030年の環境変化(人口減少問題)と「サステナビリティへの取組み」を見据えた社会・中小企業の課題を意識し、策定しております。

それでは具体的な新たな取組みをご紹介します。現在開発済みでご利用いただけるものとしては「ESG診断(無料)」「DX・ITサーベイ(無料)」「幸せゼインサーベイ(有料・無料)」「温室効果ガス可視化サービス(有料)」がございます。まずは、各種診断サービスにより、中小企業の経営課題を見える化し、課題と優先順位を共有させていただきます。具体的なソリューションをご提案させていただきます。今後独自性のある診断サービス・ツールを開発し、中小企業の経営環境の変化を捉えたテーマを順次拡充してまいります。

次にサステナブル経営支援に対する取組みです。上記診断サービスを活用しつつ、中小企業のサステナブル経営の実現に向けて、「対話」診断「計画」実行の流れで一貫貫サポーターとしてまいります。また、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクトの包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「経済的価値」「働き手の幸せ」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した伴走支援型融資・ポジティブインパクトファイナンスもご用意しております。

株式会社アピイ 青森市問屋町1丁目7番地21
TEL 017-757-8681 / FAX 017-757-8677

- 住宅型有料老人ホーム アピイライフ (40床)
- 住宅型有料老人ホーム アピイクオレ (45床)
- 居宅介護支援事業所 アーサス
- 訪問介護事業所・障がい福祉事業所 アーサスケア
- 訪問看護事業所 アピイ訪問看護ステーション
- 福祉用具貸与・販売事業所 アピイライフイド

暮らしと住まいの総合商社
東栄株式会社

東北支店
TEL (017) 762-3316
住設事業部 青森営業所
TEL (017) 762-3503
青森市第二問屋町3丁目3番42号

新型定期預金
マイナーベスト

有利な金利設定 * 固定金利の半年複利 1年,2年,3年から期間が選べる

*当金庫内の商品と比較した場合

●詳しくは店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

青森支店
〒030-0861
青森市長島2-1-7
TEL 017-734-5411

人を守る。未来を思う。
商工中金

ウォーキングで健康づくり 100日ウォーク浅虫ウォーク

組合では組合員従業員の健康増進を図るため、2つのウォーキングイベントを企画した。

1つ目は、今回で4回目となる間屋町100日ウォーキング。同イベントは3名1組でエントリーし、7月24日から10月31日までの100日間の合計歩数をチームで競うイベント。今年は過去最多となる59チーム、177名がエントリーした。

昨年の優勝チームの1人当たり1日平均歩行数は2万歩を超え、個人賞の100万歩賞（1日平均1万歩）達成者は31名と、回を重ねるごとに参加者のウォーキングに対す

る意欲は増している。上位3チームは組合員新年会で表彰するほか、4位・10位のチームと100万歩賞達成者には健康関連グッズを贈る。

2つ目は初開催となる浅虫温泉健康ウォーキング。7月24日（日）に行われ、組合員従業員やその家族15名が参加した。



浅虫温泉健康ウォーキング



脈拍を測定して運動強度を調節



裸足で海に入りクールダウン

同イベントは専門ガイドが同行し、心拍数を計測しながら1人ひとりの体力に合わせて運動強度でウォーキング。途中、疲労を回復させるストレッチやヨガを織り交ぜながら、ゆっくりと自然あふれるコースを歩くも、参加

者はポイント、ポイントで心拍数を測定。休憩を取りながら緩やかなペースで約2時間かけて浅虫森林公園を歩いた。ゴールとなったサンセットビーチあさむしでは、裸足になり足だけ海に浸かってクールダウン。浜辺でヨガをレッスンしていた。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、リコージャパン(株)の久米支社長にお話を伺った。

同社は(株)リコーの販売部門として昭和34年に設立。リコー製品を中心として商品・サービスの提供をはじめ、業務改善を含めたコンサルティングからシステム構築、アフターサービスまで、様々なソリューションをワンストップで提供している。

「当社はオフィスだけでなく現場や在宅、企業間取引における業務ワークフローの自動化・省力化により、お客様の「はたらく」を変革していくことと取り組んでいます。お客様の働く環境をDXで変革し、人



リコージャパン(株) 青森支社長 久米 善明 氏

が働くアナログな空間にデジタルを用いて新たな価値を生み出し、その恩恵を人が享受することで更なる価値創造へ繋げる好循環を作りたいです。また先日、青森県と県内企業のデジタル化や県民の健康増進など幅広い分野で協力する包括協定を結びました。連携して取り組むのは県内企業の情報通信技術(ICT)の導入促進、結婚、子育て、男女共同参画社会、SDGsの推進など6項目です。SDGsの更なる普及や県内企業のデジタル化、働き方改革等を行うことで、企業を元気にして経済活性化と魅力ある青森県づくりに貢献していきたいと考えています」と話す。

「アピールポイントを伺うと「仕事に関する情報のアップデートを目的とした社内勉強会を年間百時間行っています。常に最新の情報やサービスの提供ができるように、毎回コンテンツを変えて全社員が情報をインプットしています」と力強い。

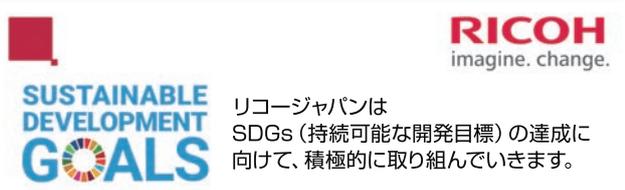
「間屋町の印象を聞くと「敷地が広くて企業数が多い印象です。高速道路も近くにあり、物流面で立地条件が素晴らしいと思います」と語る。

「プライベートに話が及ぶと「もう少し涼しくなったらウォーキングを始めようと思っています。健康経営を推進している割に自分が不健康だと社員にも示しがつかないので、会社の中で早足で歩いたり、食生活では油の入っていないものを選んで、健康には気を遣うようにしています」と笑う。

「好きな言葉は「一日一善です。自分の名前に善という字が入っていることもあり、小さい頃から一日一善を行うように心がけています。社員に声かけしたり、励ましたりといったことを今日ではできなくなりましたが、振り返って見ると、今後は自分ができる範囲のことを続けていきたいです」と締めくくった。(53歳)

編集後記

青森市の夏のメインイベントである青森ねぶた祭りが3年ぶりに開催されました。コロナ禍により2年間寂しい夏を過ごしてしまいましたが、賛否ある中で開催を英断した関係各位に敬意を表するとともに、やっぱり青森の夏はねぶたがあつてこそだと改めて実感しました▼さて、4年目となる間屋町100日ウォーキングが始まりました。組合員従業員の運動不足解消や運動習慣のきっかけづくりを目的に始めた当企画。健康づくりは食事と運動がポイントと言いますが、ウォーキングは一番手軽にできる運動です▼私も毎年参加していますが、万歩計を持つと自然と歩数が増えます。仕事しているだけでは全然歩いていないので、歩いて帰ったり、帰宅してからランニングしたりと歩数稼ぎに動んでいます▼参加者のみなさんも歩くことを意識するよう、1日平均歩数は1年目6766歩、2年目6959歩、3年目7321歩と順調に伸びており、健康づくりに役買しているようです▼仕事も「見える化」することで標準化や効率化を図ることができ、健康づくりも「見える化」が大切です。今年も1日1万歩を目指して頑張ります。(小田切)



RICOH imagine. change.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

リコージャパンはSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、積極的に取り組んでいきます。

リコージャパン株式会社 青森支社
〒030-0113 青森県青森市第二間屋町3-5-37
TEL:050-3817-0971 https://www.ricoh.co.jp/



あなたの暮らしに近くて便利!

セブン-イレブン 青森間屋町1丁目店

〒030-0131 青森市間屋町1丁目9番22号
電話/FAX 017-728-7717